

一般社団法人福岡市医師会
定例記者会見

令和3年4月7日(水)13時30分

福岡市医師会 常任理事 江頭 省吾

一般社団法人 **福岡市医師会**



1. 現在の検査状況

福岡市全体の検査実施数のうち約2割を実施

令和3年	1月	2月	3月
検査数 ※	8,133	5,022	3,946
(福岡市全体)	(38,310)	(23,664)	(22,340)
陽性率 ※	9.7%	3.0%	1.2%
(福岡市全体)	(9.1%)	(3.0%)	(0.7%)

※福岡市医師会臨床検査センター受託分

一般社団法人 福岡市医師会





2. 検査体制強化

○核酸（遺伝子）検出検査の拡充

- ① PCR法の拡大
- ② TMA法の追加導入

○専用機器による抗原定量検査



新ラボ



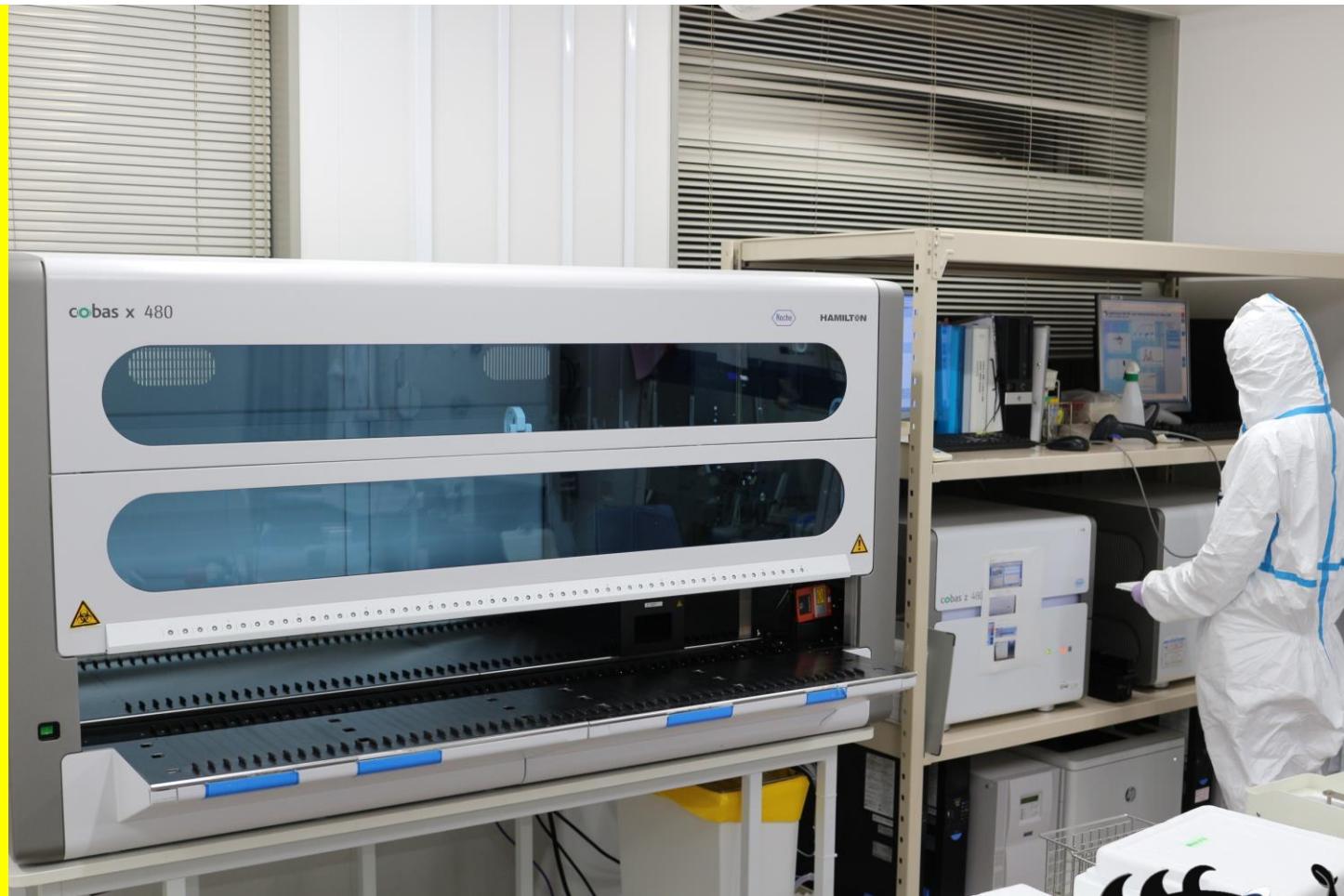


3. PCR法の受託数拡大

○令和2年 8月開始時
最大 90件／日



○令和3年4月現在
最大 700件／日



PCR検査の様子

一般社団法人 福岡市医師会



4. TMA法の追加導入

○PCR法と同じ核酸検出検査

○保健環境研究所等
全国で採用

○現在：200件／日 受託可能



⇒PCR法とTMA法により **900件／日**(昨年比**10倍**)
今後も体制強化を進めます

一般社団法人 **福岡市医師会**



5. 化学発光酵素免疫測定法による 抗原定量検査

- 核酸検出検査と同等の高精度
- 空港検疫事業、保健所、九州管内約 50 医療機関等が採用
- 480 件／日 受託可能



抗原定量の機器



一般社団法人 福岡市医師会

6. 変異株について（福岡市医師会臨床検査センター）

- 全国で監視体制が強化、自治体で検査
- 医療機関からの検査は未実施
- 今後検査が拡大された場合、協力検査機関と連携

今後ともコロナ関連検査を拡充できるように、人的・物的体制を強化します

